

# 川崎市

DATA

【人口】 1,545,942 人 (R5.12.1現在)  
【面積】 144.35 平方キロメートル  
【職員数】 18,649 人 (R5.4.1現在)

## 《発表のテーマ》

道路パトロールに伴う実施経路の記録～より安全で安心な道路管理のために～

### <発表概要or今年の特徴>

道路パトロール業務における実施経路について、従来は手作業で地図に記録をしていましたが、GPSロガーを導入し、経路の自動記録が可能となりました。これにより、損傷確認と地図記録を同時に行っていた職員が、点検業務に集中できるようになり、パトロール業務の質の向上を実現しました。

### <改善運動の特色やアピールポイントなど>

全ての職員が市民目線での改善を主体的に実践し、業務量の軽減やコストの縮減にもつながるよう、職場での改善活動を推進しています。


### <メッセージ・意気込み>

川崎市は市制100周年を迎えます。  
次の100年に向けて  
持続可能な組織であるために  
業務改善に取り組みます！

これからはじまる  
Colors, Future! Actions  
さあ、いっしょに。

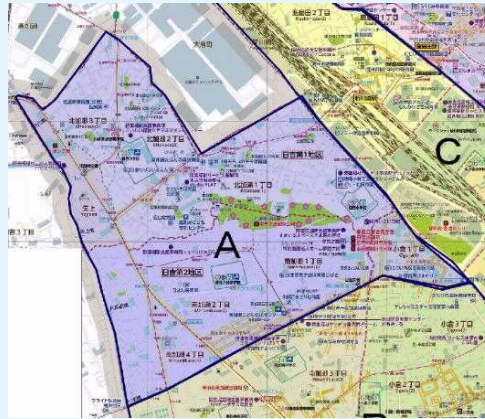
**100**<sup>th</sup>

2024年、川崎市は市制100周年

部署名	川崎市幸区道路公園センター
タイトル	道路パトロールに伴う実施経路の記録 ～より安全で安心な道路管理のために～
改善前 【Before】	<p>・道路パトロールは、道路を定期的に巡回・点検し、道路交通の安全を確保するもの。</p> <p>・パトロールは運転手と点検者の二人一組で実施。一人が運転し、もう一人が道路の目視点検と走行経路の確認を行い、道路の破損箇所の調査しながら、点検した経路を紙の地図に記録。</p> <p>⇒ <u>点検業務に集中できない等の支障があった。</u></p> 

## 取組内容

従来の紙の地図



導入したGPSロガー



- GPSロガーを導入し、点検時に職員が携行。
- GPSロガーにより、点検した経路を自動で記録。
- 経路情報を取り込むことで、地図情報システム上の確認が可能。

## 効果 【After】

(改善の成果  
・取組の効果)

	改善前	改善後
パトロール 前の準備	紙の地図の確認 1日1回 10分×100回/年 =約16時間	地図情報システムでの確認 1日1回 3分×100回/年 =5時間
パトロール 後の処理	紙の地図の保管 1日1回 3分×100回/年 =5時間	地図情報システムでの自動記録の ため、0時間!
紙の使用量	1日1回 5枚印刷×100回/年 =500枚	地図情報システムでの自動記録の ため、0枚!

## 効果 【After】

(改善の成果  
・取組の効果)

	改善前	改善後
点検業務	<ul style="list-style-type: none"><li>・点検と地図への記録を同時に行うため、<u>点検漏れが生じる可能性</u>がある。</li><li>・地図への記録漏れにより、<u>パトロールのルートに偏り</u>が生じ、道路の損傷を見逃してしまう可能性がある。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・<u>点検に集中</u>できることで、<u>点検業務の質が向上</u>する。</li><li>・地図情報システムにより、適切なルートの把握が可能のため、<u>偏りのない点検が可能</u>となり、道路の損傷に適切に対応できる。</li></ul>

⇒ 道路の正確な維持管理によって、より一層の安全確保を実現